

平成25年度 十和田市指定管理者総合評価シート(市⇒指定管理者)

施設名	十和田市観光物産交流施設	
指定管理者名	一般社団法人十和田市観光協会	
指定期間	3年中2年目	平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日
施設概要	観光及び物産に関する情報を提供とともに、市民の交流活動等の場を提供することにより、本市の魅力の発信及び賑わいの創出を図り、もって本市の観光及び物産の振興並びに地域社会の活性化に資することを目的に設置した施設	
指定管理者の業務	施設の使用の許可に関すること 施設の利用に関すること 観光情報の提供に関すること 市の物産の展示及び紹介に関すること 利用者に便宜を提供するため、営業の用に供すること 施設、設備の維持管理に関すること	
指定管理に要する総事業費	13,075千円	
指定管理に要する総人件費	10,293千円	
指定管理施設で就業する全職員数	常勤職員4人、非常勤職員0人	

施設所管課	観光推進課
-------	-------

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
管理運営状況	開館時間、休館日の状況	施設によるサービスが協定等に基づき適切に提供されている。	B 施設によるサービスが適切に提供されている。
		協定等で定めた利用時間が遵守されている。	B 業務基準書で定めた利用時間が遵守されている。
		協定等で定めた利用日が遵守されている。	B 業務基準書で定めた利用日が遵守されている。
		協定等で定めた利用期間が遵守されている。	B 業務基準書で定めた利用期間が遵守されている。
	使用許可及び減免の状況	手続が円滑に行われている。(手続に要する書類が整備されているか)	B 条例及び規則に基づき手続きが円滑に行われている。
		処理が適正に行われている。(事務処理に時間を要していないか)	B 事務処理は適正に行われている。
		適正な判断基準により減免されている。(減免すべきものを徵収、又は減免すべきでないものを減免していないか)	B 条例及び規則に基づき適正に行われている。
	適正な人員配置	施設サービスの提供のため、必要な人員数が確保されている。	B 業務基準書で定めた適切な人員が配置されている。
		法令等に定められている人員配置基準を満たしている。	B 法令を遵守し配置されている。
		人員配置が過剰、過少ではない。(直営時又は類似施設と比較)	B 必要人員が適切に配置されている。
		必要な資格、経験を有する人員が適切に配置されている。	B 経験者が適切に配置されている。
		技能、技術等を維持向上するための研修等を定期的かつ適切に実施している。	B 必要な研修を適切に実施している。
法令の遵守	関係法令を遵守していると認められる。	B	関係法令を遵守していると認められる。

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
(管理運営状況)	維持管理業務(清掃、警備など)	利用者が快適に利用できるよう、また、施設の安全な管理設備機器等について協定等に基づき、定期的に安全確認を行っている。	B 業務基準書に基づき必要な保守点検を定期的に実施し、施設の安全確認を行っている。
		清掃について、清潔を保つために必要な回数が適切に実施されている。	B 業務基準書に基づき清掃作業が適切に実施されている。
		利用者の安全を保つために必要な措置(立入禁止区域の指定及び危険箇所の注意喚起等)が適切に実施されている。	B 業務基準書に基づき安全措置が適切に実施されている。
		協定に基づき、指定管理者が行うものとされる修繕について、適切に実施されている。	B 業務基準書に基づき必要に応じて適切に実施されている。
		修繕内容について、市に報告が行われている。	△ 該当なし
		法定点検が確実に行われている。	B 業務基準書に基づき適切に法定点検が行われている。
	文書の管理保存	施設の管理記録が整備されている。	B 業務基準書に基づき適切に整備されている。
		管理記録(施設の利用状況及び定期点検の実施状況等の記録)について定期的に市に報告が行われている。	B 業務基準書に基づき定期的かつ速やかに報告されている。
		管理記録、管理に係る書類等の保存が、適切に行われている。	B 業務基準書に基づき適切に保管管理されている。
	報告書等の提出	事業計画、月例報告、事業報告その他報告等の提出や内容が適切である。	B 業務基準書に基づき報告等が適切に行われている。
	管理終了後における引継ぎ	業務の引継ぎや設備等の原状回復を適切に行った。	△ 該当なし
運営状況	備品の管理	備品台帳を基に適切な管理が行われている。	B 適切な管理が行われている。
		利用者への設備・備品の貸出について、問題が生じていない。	B 特に問題は生じていない。
		提供・貸出について、利用者からの苦情が少ない。	B 苦情は少ない。
	施設利用状況	近年又は市の直営時と比較して、利用実績が妥当である。	B 概ね実績は妥当である。
	サービスの向上に向けた取組	市民のニーズを踏まえて、施設サービス・事業等の見直しを市とともに的確に行っている。	B 市民ニーズの把握に努めるとともに常に市と連携を取り的確に行われている。
		費用対効果の観点から、施設サービス・事業等の実施方法等を見直し、より効率的・効果的な実施に努めている。	B 費用対効果の観点から、より効率的、効果的なサービス、事業の実施に努めている。
		職員の接遇(言葉遣い、態度、服装等)が適切である。	B 職員の接遇は適切である。
		接遇について、研修等を定期的かつ適切に実施している。	B 職員研修を定期的に実施している。
		直営時と比較して、苦情が少ない。	B 苦情は少ない。
(運営状況)	自主事業	自主事業が積極的に開催され、施設の利用促進に大きな効果があった。	A 多様なイベントを実施し来場者増に努めている。
		自主事業が、施設の目的に沿って、市民等へのサービスの向上に貢献している。	A 独自のイベントを開催し、サービス向上と共に集客増を図っている。

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
指定管理料	指定管理料の執行状況	B	適正に予算が執行されている。
	利用料金(使用料)の取扱い	B	適正な運用が行われている。
		C	テナントの撤退に伴い利用料金収入が減少した。
			該当なし
	経費節減状況	B	費用対効果の観点から、経費を縮減する努力が行われている。
		B	適切な水準を保ちながら、委託業者との契約内容を精査し、経費が最小限となるよう工夫、努力している。
		B	安定した運営が行われている。
		B	経費節減に取組み、適切に行われている。
	収入の増加	B	テナントの撤退に伴い利用料金収入の減少はあったが、自主事業等を実施し、収入の確保に努めていた。
		B	自主事業等を実施し、収入確保の努めていた。
	経理区分	B	適切に区分されている。
危機管理対策	事故防止対策	B	業務基準書に基づき適切に実施している。
		B	業務基準書に基づき適切に実施している。
		B	管理運営組織図等が適切に整備されている。
		B	管理運営組織図等が適切に整備されている。
		B	管理運営組織図等が適切に整備され、訓練が行われている。
		B	迅速に対応し、適切に報告されている。

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
その他	保険の加入状況	B	賠償の規模が、市がこれまで直営で行ってきた賠償額と同等以上である。 (募集要項で要求していた基準を維持している。)
	守秘義務	B	管理の業務上知り得た秘密の漏えい防止のために必要な措置を講じられている。
	個人情報保護	B	指定管理者が管理する個人情報について、漏えい、紛失等の事故防止対策が適切に講じられている。
		B	指定管理者が管理する個人情報について、目的外利用が行われていない。
	情報公開	B	管理を行う施設に関する情報の開示及び情報提供のために必要な措置が講じられている。
	連絡調整等	B	関係団体、地域との連絡調整等が、必要に応じ、適切に実施されている。

【 指定管理者から市に対する要望・提言等 】 ※指定管理者から提出された自己評価シートに記載された事項をそのまま転記する。

【 講評 】 ※評価の結果について、総合的な評価内容を文章により記入する(指定管理者からの要望・提言等も含め)。

テナントの撤退に伴い利用料金収入の減少はあったが、収入の確保、利用者増のために積極的に自主事業を実施し、サービス向上に努めているとともに、施設管理は適切であり良好な運営が行われている。